



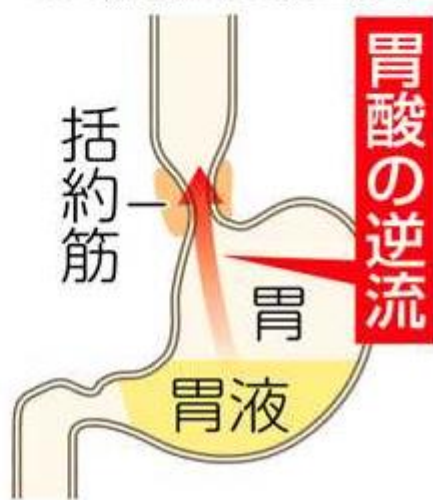
強い酸性の胃酸が食道内に逆流することで、食道の粘膜にただれを引き起こす病気があります。「逆流性食道炎」と言えば、聞いたことがある人が多いのではないのでしょうか。

原因の一つに、食道と胃のつなぎ目にあり、胃酸の逆流を防いでいる括約筋の衰えが挙げられます。加齢によって起きるため、高齢者の発症が目立ちます。暴飲暴食による胃酸分泌の増加のほか、肥満や妊娠による腹部の内圧増加も原因となっています。

代表的な症状としては、胸焼けや口を感じる苦味、胸の痛みもあります。症状は人それぞれです

逆流性食道炎①

逆流性食道炎



が、ひどい場合には食道に潰瘍もできます。また治った後でも食道が細くなり、飲食した時につっかえ感が残るケースも見られます。胃潰瘍や食道がんでも似た症状があるので、心配でしたら、内視鏡検査を受診することをお勧めします。食道の炎症程度を確認することもできます。

(中山善秀消化器内科医師・談)



中日病院 名古屋市
中区丸の内3の12の

3。☎中日病院 052(961)2491

括約筋の衰えも一因に